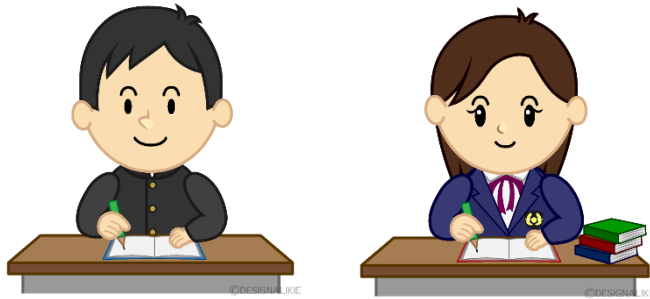


令和8年度

生活情報科 1学年

シラバス

(授業計画)



Kagoshima prefectural YAMAGAWA High School

鹿児島県立山川高等学校

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	3単位	年次	1年次
使用教科書	新編言語文化						
副教材等	実践文字カトリプルチェック, パーフェクト演習(尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>授業では、学習内容をノートに記入したり、資料プリントを利用して理解を深めたりします。しっかり聞いて、考えて、自分の考えを発表しましょう。また、配付されたものは整理して綴っておきましょう。</li> <li>授業中に分からないことがあれば、遠慮なく質問しましょう。</li> <li>朗読や発表をするときには、できるだけ大きな声ではっきりと行いましょう。</li> <li>復習をしっかり行うことで学習内容が身についていきます。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
---

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査, 課題考査等	提出物, 授業ノート, 発言等	授業態度, 発言, 出席状況等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	現代文	随筆	さくらさくらさくら	○	○	○	a: 語感を磨き語彙を豊かにしているか。	考査成績 提出物 発言等
	古文	古文入門	兎のそら寝	○	○	○	b: 内容や構成, 展開などを的確に捉えているか。	
	漢文	故事成語	守株 等	○	○	○	c: 音読を通して世界観を味わっているか。	
2 学期	現代文	小説	とんかつ	○	○	○	a: 語感を磨き語彙を豊かにしているか。	考査成績 提出物 発言等
	古文	随筆	徒然草	○	○	○	b: 内容や構成, 展開などを的確に捉えているか。	
	漢文	漢詩	絶句と律詩	○	○	○	c: 音読を通して世界観を味わっているか。	
3 学期	現代文	詩歌	短歌, 俳句, 詩	○	○	○	a: 語感を磨き語彙を豊かにしているか。	考査成績 提出物 発言等
	古文	物語	伊勢物語	○	○	○	b: 内容や構成, 展開などを的確に捉えているか。	
	漢文	論語	論語	○	○	○	c: 音読を通して世界観を味わっているか。	

令和8年度 地歴公民科【シラバス】(全科共通)

教科	公民科	科目	公共	単位数	3単位	年次	1年次
使用教科書	183 第一 公共 711 高等学校 新公共(第一学習社)						
副教材等	授業で配布するプリント、ノート等						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎時間プリント配布。ノートに貼ること。再配布はしませんので管理をすること。</li> <li>・ プリントの空欄を埋め、教師の話聞きながら必要に応じてメモを取りましょう。</li> <li>・ 社会的事象に関して友達と話し合う時間や意見をまとめる時間もありますので、積極的に発言をしましょう。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標(学習指導要領 提示)

<p>(1) 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする。</p> <p>(2) 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。</p>
---

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解する。</li> <li>・諸資料から倫理的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>・自己の学習状況を客観的に振り返り、記録を残そうとしている。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・準拠ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・パフォーマンス課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフレクションシート</li> </ul>

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動(単元の評価規準cについては、上記 学習評価に記載のとおり)

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	公共の扉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間をつくる私たち</li> <li>・人間としての在り方生き方</li> </ul>	個人の尊厳	○		○	a:自らの体験を振り返ることを通して、人間としての在り方や生き方について理解している。 b:人間と社会の多様性などに着目して、社会に参画していくために必要な事柄を多面的多角的に考察し、表現している。	各テスト パフォーマンス課題 リフレクションシート
			多様性と共通性		○	○		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保護</li> <li>・生命倫理</li> <li>・日本国憲法の基本原理</li> </ul>	○	○	○		
2学期	社会の形成に参画する私たち 自律した主体としてよりよい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法的な主体となる私たち</li> <li>・政治的な主体となる私たち</li> </ul>	法の規範	○		○	a:人間の尊厳と平等、個人の尊厳と民主主義、自由と権利など公共的な空間における基本原理について理解している。 b:幸福 公正 正義などに着目し、公共的な空間における基本原理について、思考実験などの考察する活動を通して、個人と社会の関わりについて多面的多角的に考察し、表現している。	各テスト パフォーマンス課題 リフレクションシート
			契約 金融役割 消費者の権利	○	○	○		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・司法参加の意義</li> <li>・政治参加と公正な世論形成</li> </ul>	○	○	○		
3学期	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な主体となる私たち</li> <li>・課題探求</li> </ul>	市場経済の仕組	○		○	a:(課題探求のため設定しない) b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実をもとに協働して考察したり、構想したりしたことについて、論拠をもって表現している。	各テスト パフォーマンス課題 リフレクションシート
			ケーススタディ		○	○		
			課題探求		○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	数学科	科目	数学 I	単位数	3単位	年次	1年次
使用教科書	数 I 007-903「高校数学 I 新訂版」(実教出版)						
副教材等	高校数学 I 新訂版 スタディノート(実教出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・授業では教科書・スタディノートをベースに進める。必要に応じて、ノートを準備する指示をする。
- ・評価は定期考査・長期休暇明けの課題考査・授業態度・提出物等をもとに行う。
- ・提出物は締切を厳守すること。

2 学習の到達目標

- 数と式 基本的な文字式の計算や、展開・因数分解・方程式を解くことができる。  
1次不等式を解くことや、不等式を利用して身近な問題を解くことができる。
- 2次関数 1次関数、2次関数の値を求め、グラフを描くことができる。  
グラフを活用して、最大値・最小値を求めたり、2次不等式を解いたりできる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解し、数学的な表現・処理する技能を身につけている。	基本的な法則を活用して事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて表現することができる。	数学の論理や体系に関心をもち、事象を数学的論拠に基づいて判断しようとする。また、数学のよさを認識し、活用しようとする。
評価方法	・定期考査・課題考査 ・小テスト など	・定期考査・小テスト ・授業態度 など	・授業態度・出席状況 ・提出物 など

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	数と式	整式 実数	整式の加減乗法	○		○	a:基本的な計算や展開・因数分解ができる。 b:既習の計算方法と関連付けて解くことができる。 c:意欲を持って取り組み、工夫して計算しようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			展開・因数分解	○	○	○		
			平方根とその計算	○	○	○		
			実数	○		○		
2学期	2次関数	方程式と不等式 関数とグラフ	方程式・不等式	○	○	○	a:xとyの関係を式やグラフで表すことができる。 b:2次関数の特徴を捉え、最大値・最小値を求められる。 c:世の中にある2次関数で表される事象について考える。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			1次関数	○		○		
			2次関数のグラフ	○	○	○		
3学期	2次関数	2次関数の値の変化	最大値・最小値	○	○	○	a:2次関数の最大値・最小値や2次不等式の解を求めることができる。 b:最大値・最小値を活用して実生活における問題について考察できる。 c:2次関数のグラフを活用して、最大値・最小値や2次不等式の解を求めようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			2次不等式	○	○	○		

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	科学と人間生活新訂版(実教出版 科人 007-901)						
副教材等	科学と人間生活新訂版 エブリイノート 授業のまとめ						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

授業では、エブリイノートで基本的な内容をまとめる。  
 評価は、定期考査、授業態度、提出物、小テスト等でおこなう。  
 定期考査の誤りは、訂正プリントに整理・訂正する。

2 学習の到達目標

自然の事物・事象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・事象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然と人間生活との関わり及び科学技術との関わりについての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験、調査などに関する技能を身に付けている	生活の中から問題を見だし、見通しを持って観察、実験、調査などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。	身の回りの技術や、自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度をもっている。
評価方法	定期考査 小テスト	定期考査 エブリイノートの記述	ノートの記述、春・夏・冬休み課題 授業態度、訂正プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	・科学と技術の発展 ・熱や光の科学	・科学と技術の始まり ・海、土 ・熱の性質とその利用	海(深海)	○	○	○	a: 科学技術の発展、海や土の環境、熱や光の利用や技術を理解している。 b: 生活と関連付けて観察、実験等を行い、科学的に考察し表現している。 c: 生態系を人間生活と関連付け、理解しようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			土(農業)	○	○	○		
			熱の性質とその利用	○	○	○		
2学期	・熱や光の科学 ・宇宙や地球の科学	・熱の性質とその利用 ・光の性質とその利用 ・太陽と地球	熱の性質とその利用	○	○	○	a: 熱やエネルギーを利用した技術、太陽系のしくみを理解している。 b: 生活と関連付けて観察、実験等を行い、科学的に考察し表現している。 c: 天体の運動やその影響を、人間生活と関連付け、理解しようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			光の性質とその利用	○	○	○		
			太陽と地球	○	○	○		
3学期	宇宙や地球の科学	・太陽と地球 ・自然景観と自然災害	太陽と地球	○	○	○	a: 身近に見られる天体と人間生活との関わりについて理解している。 b: 生活と関連付けて観察、実験等を行い、科学的に考察し表現している。 c: 自然環境や自然災害について、人間生活と関連付け、理解しようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			自然景観と自然災害	○	○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3単位	年次	1年次
使用教科書	現代高等保健体育						
副教材等	現代高等保健体育ノート、ステップアップ高校スポーツ 2026						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育服、靴下、シューズの忘れ物がないように準備をしましょう。</li> <li>・積極的に活動に取り組み、運動習慣を確立させましょう。</li> <li>・課題を解決するための話し合いに積極的に関わり、発言をしましょう。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<p>(1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
---

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。
評価方法	筆記テスト、実技テスト	観察、ワークシート	観察、ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期		・体づくり運動 ・球技 ・ダンス	体づくり運動	○		○	a:生涯にわたって運動を豊かに実践するための技術の名称や行い方、体力の高め方について理解しているとともに選択した領域の基本的な技能や動きを身につけている。 b:自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 c:運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように自主的に取り組もうとしている。	筆記テスト 実技テスト ワークシート 観察
			体ほぐしの運動		○	○		
			バレーボール バドミントン バスケットボール	○	○	○		
			ダンス	○		○		
2学期	体育	・ダンス ・陸上競技 ・体育理論 ・球技 ・武道	ダンス	○	○			
			短距離走 長距離走	○	○			
			体育理論	○		○		
			サッカー 卓球 剣道	○	○	○		
3学期		・体育理論 ・球技	体育理論	○	○			
			バドミントン 卓球 バスケットボール	○	○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	年次	1年次
使用教科書	現代高等保健体育						
副教材等	現代高等保健体育ノート						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、教科書とノートを持参しましょう。</li> <li>・ノートの空欄を埋め、教師の話聞きながら必要に応じてメモを取りましょう。</li> <li>・課題を解決するための話し合いに積極的に関わり、発言をしましょう。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	ノート、単元テスト、発言	ノート、単元テスト、発言	ノート、単元テスト、発言
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 2 学期	現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の考え方</li> <li>・現代の感染症とその予防</li> <li>・生活習慣病などの予防と回復</li> <li>・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</li> <li>・精神疾患の特徴・予防・回復</li> <li>・精神疾患の予防と回復</li> </ul>	健康の考え方と成り立ち・すがた		○	○	<p>a:現代社会と健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>b:現代社会と健康について、課題を発見し、解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。</p> <p>c:現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・発言</li> </ul>
			生活習慣病・がんの原因と予防、治療と回復	○	○			
運動・食事・休養と睡眠			○		○			
喫煙・飲酒・薬物乱用と健康				○	○			
精神疾患の特徴・予防・回復				○	○			
感染症・性感染症・エイズとその予防			○	○				
3 学期	安全な社会生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な社会づくり</li> <li>・応急手当</li> </ul>	事故・安全な社会・交通		○	○	<p>a:安全な社会生活について、理解したことを言ったり書いたりしている</p> <p>b:安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、表現している。</p> <p>c:安全な社会生活について、課題の解決と主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・発言</li> <li>・実習の観察</li> </ul>
			応急手当の意義と基本・日常的な応急手当・心肺蘇生法	○		○		

教科名	芸術	科目名	音楽I	学年	1	学科名	全科共通	単位数	2
使用教科書	MOUSA I								
補助教材など									
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽のさまざまな活動を通して、音楽のよさや楽しさを味わう。</li> <li>音楽のさまざまな活動を通して、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり、音楽のよさ等を考えたり他者に伝える能力を育てる。</li> <li>音楽のさまざまな活動を通して、音楽と生活との関わり、音楽文化に関心を持ち、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育てる。</li> </ul>								
学期	学習内容	学習のねらい	評価の観点	知	思	態	評価規準（評価方法）		
一学期	1 楽典① (1) 速度や表現に関する用語と記号  2 歌唱 (1) 合唱 (2) アカペラ  3 鑑賞 (1) オーケストラ (2) ミュージカル (3) 世界の民族音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現力を高めるために、中学校で習得した音楽を形づくっている要素や用語・記号などをもとに新たな音楽を形づくっている要素や用語・記号を習得します。</li> <li>呼吸法と発声法を修得し、豊かな表現力を身につけます。</li> <li>親しみやすいミュージカルを鑑賞し、芸術への興味や関心を高めます。</li> <li>実際の演奏風景を観ながら、音楽表現の多様性を感じ取ります。</li> </ul>	①			※ 〇内の漢字は「評価の観点」と、○番号は左側の「学習内容」と「評価の観点」の○番号と対応しています。 ●評価基準 ・(知①) 音楽表現に必要な用語や記号を習得することができる。 ・(知②) 歌唱に必要な呼吸法と発声法を習得することができる。 ・(知③) それぞれの音楽の特徴や文化的・歴史的背景を理解することができる。 ・(思②) 歌唱表現に関わる発声法や呼吸法を生かして、歌唱表現を創意工夫することができる。 ・(思③) それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 曲や演奏に対する評価を他者に伝えることができる。 ・(態①～④) 上記「評価の観点と趣旨」の「主体的に学習に取り組む態度」を参照。 ●評価の方法 ・(知、技) ワークシート等の提出および内容 ・(思) ワークシート等の内容や実技 ・(態) 出席や遅刻の状況、授業態度等			
二学期	1 楽典②  2 ギター  3 鑑賞（オペラ）  4 キーボード	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な楽曲を用いて、楽譜の読み方を学びます。</li> <li>ギターを用いて、中学校での基礎をもとに高度な奏法や表現を身につけます。</li> <li>総合芸術であるオペラを鑑賞し、音楽をはじめとする芸術全体への興味を高め、音楽観を深めるとともに芸術観を広げていきます。</li> <li>鍵盤楽器の基礎的な奏法を修得し、様々な楽曲の演奏技術を身につけます。</li> <li>音色や合奏の楽しさを味わい、アンサンブル活動につなげていきます。</li> </ul>	①	②	②	※ 〇内の漢字は「評価の観点」と、○番号は左側の「学習内容」と「評価の観点」の○番号と対応しています。 ●評価基準 ・(知①) 音楽表現に必要な用語や記号を習得することができる。 ・(知②④) 演奏に必要な奏法と身体の使い方を習得することができる。 ・(知③) 文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解することができる。 ・(思②④) 器楽表現に関わる奏法や身体の使い方を生かして、器楽表現を創意工夫することができる。 ・(思③) それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 曲や演奏に対する評価を他者に伝えることができる。 ・(態①～④) 上記「評価の観点と趣旨」の「主体的に学習に取り組む態度」を参照。 ●評価の方法 ・(知、技) ワークシート等の提出および内容 ・(思) ワークシート等の内容や実技 ・(態) 出席や遅刻の状況、授業態度等			
三学期	1 ヴァイオリン  2 合唱  3 鑑賞 (1) 映画音楽 (2) 日本の古典芸能 (3) 現代音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>弦楽器の音色や音程を探ることによって豊かな表現力を身につけます。</li> <li>今まで活動してきたことをふまえ、アンサンブル活動を通して協調性を高めます。</li> <li>我が国の音楽に興味・関心を高め、私たちのこれからの生活と芸術との関わりあいについて深めます。</li> </ul>	①	①	①	※ 〇内の漢字は「評価の観点」と、○番号は左側の「学習内容」と「評価の観点」の○番号と対応しています。 ●評価基準 ・(知①) 演奏に必要な奏法や身体の使い方を習得することができる。 ・(知③) 我が国の伝統音楽やそれぞれの音楽の特徴や文化的・歴史的背景を理解することができる。 ・(思②) 歌唱表現に関わる発声法や呼吸法を生かして、歌唱表現を創意工夫することができる。 ・(思③) それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。曲や演奏に対する評価を他者に伝えることができる。 ・(態①～④) 上記「評価の観点と趣旨」の「主体的に学習に取り組む態度」を参照。 ●評価の方法 ・(知、技) ワークシート等の提出および内容 ・(思) ワークシート等の内容や実技 ・(態) 出席や遅刻の状況、授業態度等			
評価の観点と趣旨	知識・技能 ○歌唱 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりなどを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。 ・他者との調和を意識しながら歌うことができる。 ○器楽 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりなどを理解し、曲想と楽器の音色や奏法との関わり、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。 ・他者との調和を意識しながら演奏することができる。 ○鑑賞 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景や他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解することができる。	思考・判断・表現 ○歌唱 ・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することができる。 ○器楽 ・器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 ○鑑賞 ・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 ・曲や演奏に対する評価や、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を見だし、他者に伝えることができる。	主体的に学習に取り組む態度 ・音楽のさまざまな活動を通して、音楽のよさや楽しさを味わうことができる。 ・音楽のさまざまな活動に対して意欲的に取り組むことができる。 ・自分の考えや音楽表現を他者に伝えることができる。 ・他者の考えや音楽表現に共感し、自分の音楽表現に生かすことができる。						

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科名	芸術	科目名	美術 I	学年	1	学科名	全科共通	単位数	2
使用教科書	美術 1								
補助教材など	ファイル、画用紙、絵具など（教科担当者で準備します）								
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく、主体的に美術活動に取り組み、美術を味わう心情を深める。</li> <li>・想像力を高め、豊かな発想をし、自分の表現方法を相違工夫する力を伸ばす。</li> <li>・美術文化に対する関心を高め、よさや美しさを発見し、味わう心情を育てる。</li> </ul>								
学期	学習内容（※状況により変更あり）	学習のねらい	評価の観点 知 思 態			評価規準（評価方法）			
一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●明暗によるトーン作り</li> <li>① 道具の基礎知識と安全について</li> <li>② グラデーションの基礎知識・描き方</li> <li>③ オリジナル作品づくりの構想</li> <li>④ 制作と鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙や練ゴムなどの、素材の特性を知り、道具、刃物の基礎的な使い方を習得します。</li> <li>・美術の表現の基礎となる、明暗のグラデーションについておさらいします。色彩の土台となる明暗を正確に把握し、表現する力を高め、より応用的なものへ進むための基礎を作ります。</li> </ul>	① ② ③ ④	① ② ③ ④	① ② ③ ④	<ul style="list-style-type: none"> <li>※（）内の漢字は「評価の観点」と、○番号は左側の「学習内容」と「評価の観点」の○番号と対応しています。</li> <li>●評価基準</li> <li>・（知①）用具の使い方、画材の特徴を正確に理解する。安全に使用できる。</li> <li>・（知②）作品、課題の制作の手順を正確に把握する。知識・理解に基づき、丁寧に表現する技術を確実に身につける。</li> <li>・（思③）技術、素材・道具の特徴をつかみ、全体と部分の調和を考えた、独創的な発想ができる。イメージに沿った対象物（モチーフ）を設定できる。</li> <li>・（知④）発想・構想を元に、それに沿った丁寧に、正確に制作することができる。</li> <li>・（思④）他者の作品を鑑賞し合うことで、互いの違いやよさを認め合うことができる。</li> <li>・（思④）鑑賞を通して、美術を味わう心情、関心を高める。</li> <li>・（態①～④）上記 「評価の観点と趣旨」の「主体的に学習に取り組む態度」を参照。</li> <li>●評価の方法</li> <li>・（知、技）ワークシート等の提出および内容</li> <li>・（思）ワークシートや作品等の提出および内容</li> <li>・（態）出席や遅刻の状況、授業態度等</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レタリング</li> <li>① 素材の基礎知識と安全について</li> <li>② レタリングの基礎知識・描き方</li> <li>③ 作品づくりの構想</li> <li>④ 制作と鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラデーションと同じく、美術の表現の基礎となる形の取り方を、レタリングでおさらいします。形を正確に把握する力を高め、観察することの大切さを学習します。より応用的なものへ進むための基礎を作ります。</li> </ul>	① ② ③ ④	① ② ③ ④	① ② ③ ④				
二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グラデーションとレタリングのコンビネーション</li> <li>① これまでのおさらい</li> <li>② 制作の流れについて</li> <li>③ 作品づくりの構想</li> <li>④ 制作と鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習内容組み合わせ、応用してオリジナルの作品を作ります。可能な限りシンプルな条件下でも、多様な表現があることを学びます。</li> </ul>	① ② ③ ④	① ② ③ ④	① ② ③ ④				
二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎描写（円筒、石膏像など）</li> <li>① これまでのおさらい</li> <li>② 制作の流れについて</li> <li>③ 作品づくりの構想</li> <li>④ 制作と鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆の白黒だけで立体の描写をします。立体の空間における形の取り方、陰影の把握について学び、「思い込み」でものを見ることから離れることの大切さを体験していきます。</li> </ul>	① ② ③ ④	① ② ③ ④	① ② ③ ④	<ul style="list-style-type: none"> <li>※（）内の漢字は「評価の観点」と、○番号は左側の「学習内容」と「評価の観点」の○番号と対応しています。</li> <li>●評価基準</li> <li>・（知①）用具の使い方、画材の特徴を正確に理解する。安全に使用できる。</li> <li>・（知②）作品、課題の制作の手順を正確に把握する。知識・理解に基づき、丁寧に表現する技術を確実に身につける。</li> <li>・（思③）技術、素材・道具の特徴をつかみ、全体と部分の調和を考えた、独創的な発想ができる。イメージに沿った対象物（モチーフ）を設定できる。</li> <li>・（知④）発想・構想を元に、それに沿った丁寧に、正確に制作することができる。</li> <li>・（思④）他者の作品を鑑賞し合うことで、互いの違いやよさを認め合うことができる。</li> <li>・（思④）鑑賞を通して、美術を味わう心情、関心を高める。</li> <li>・（態①～④）上記 「評価の観点と趣旨」の「主体的に学習に取り組む態度」を参照。</li> <li>●評価の方法</li> <li>・（知、技）ワークシート等の提出および内容</li> <li>・（思）ワークシートや作品等の提出および内容</li> <li>・（態）出席や遅刻の状況、授業態度等</li> </ul>			
三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色の仕組み</li> <li>① これまでのおさらい</li> <li>② 制作の流れについて</li> <li>③ 作品づくりの構想</li> <li>④ 制作と鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で学習した色相環を実際に自分で制作します。さらに、それを応用して、付近から採集した木の葉の色を作ります。自然の色を作ることの難しさを知ることを通して、その奥深さを学び、感性を養います。</li> </ul>	① ② ③ ④	① ② ③ ④	① ② ③ ④				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●素材を変えて</li> <li>① これまでのおさらい</li> <li>② 制作の流れについて</li> <li>③ 作品づくりの構想</li> <li>④ 制作と鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習した造形感覚をもとに、段ボール等の素材を使って、作品を制作します。これまでの「描く」という直接的な表現方法とは異なる題材を通して、それぞれの違いや、共通性を学びます。</li> </ul>	① ② ③ ④	① ② ③ ④	① ② ③ ④				

評価の観点と趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の使い方や画材・素材の特徴を理解し、作品を制作することができる。</li> <li>・形や色彩などの表し方を知識として理解し、表現方法を工夫して制作することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が表現したいことやテーマを、感性を働かせ、豊かな発想で工夫し、表現の構想を練ることができる。</li> <li>・道具や素材の特徴をつかみ、構図など全体を考えた発想ができる。</li> <li>・人にはない、自分だけの独創的な表現を試みようとする。</li> <li>・他者の作品鑑賞を通して、新たな気づきや発見を得たり、感性を高めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の準備、片づけがしっかりとできる。</li> <li>・提出物を期限内に完成して出すことができる。</li> <li>・自分や周りの安全に配慮して授業に取り組める。</li> <li>・自分や他生徒の作品を鑑賞し、言葉で表現できる。</li> <li>・鑑賞を通して、他者と自分の違いを認めあうことができる。</li> </ul>

令和8年度 全科共通【シラバス】					
教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術科	書道 I	2	選択	全科共通	1

教科書（発行所）	書 I（教育図書）
教科書以外の教材	

目 標		書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。			
学期	学習事項	学習内容		考查等	
学習計画	1 学期 オリエンテーション 書写から書道へ 楷書の学習  篆刻の学習	書写と書道の違いは何か。用具の種類や扱い方、専門用語について学ぶ。 楷書の基本点画を復習する。また、「九成宮醜泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」などの楷書の古典から、書風の違いと用筆・運筆の特徴を学ぶ。 篆刻の歴史や種類を学ぶとともに、その役割と芸術性を考える。石に自分の姓名印を刻す。		作品  作品 ファイル提出	
	2 学期 行書の学習 草書の学習 硬筆の学習 隷書の学習 篆書の学習  生活の中の書	「蘭亭序」の鑑賞と臨書を通して、行書の成立とその特徴を学ぶ。 「真草千字文」の鑑賞と臨書を通して、緩急や筆圧の強弱などによる表現効果を学ぶ。 履歴書や金封など、生活の中で活用できる基本的な書き方を学ぶ。ボールペンに慣れるとともに、学んだ書体を生かして硬筆展に出品する作品を制作する。 身の回りの隷書と効果について考えるとともに、「曹全碑」の鑑賞と臨書を通して隷書の特徴を表現する。 最も古い書体である篆書の種類と漢字の変遷を学ぶ。「泰山刻石」の鑑賞と臨書を通して、篆書の用筆・運筆の特徴を表現する。 年賀状のマナーと書き方を学び、筆を生かした年賀状を制作する。		作品 作品 作品 作品 作品 ファイル提出	
	3 学期 仮名の書の学習  漢字仮名交じりの書の学習  まとめ	漢字をもとに日本で誕生した仮名について、その成立過程と特徴を学ぶ。平仮名・変体仮名・連綿の用筆・運筆を表現する。平安時代の名筆から紙面構成の特徴と効果を捉え、自身の表現に生かす。 これまでの学習で学んだ書を構成する要素について振り返り、漢字と仮名を調和させた表現を学ぶ。言葉の意味やイメージに合う表現を考え、意図や工夫を感じ取りながら互いの作品について話し合う。 1年間の活動を通して自身の取り組みや成長を振り返り、書の魅力とは何か考えてみよう。		作品  作品 ファイル提出	
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 移動教室のため、時間に余裕を持って行動し、教科書や用具をそろえて席に着きましょう。</li> <li>2 用具は大切に扱い、常に整理整頓を心がけましょう。</li> <li>3 プリントは板書をそのまま写すだけでなく、説明をよく聞いてメモしたり、自身の考えや気づきを書き込んだりする習慣をつけましょう。</li> <li>4 作品の制作過程や鑑賞活動も評価の対象です。互いにアドバイスをするなど、粘り強く作品を書き上げる姿勢を持って取り組みましょう。</li> </ol>				

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	漢字の書体の変遷や仮名の成立などの基礎知識、用具・用材の特徴と表現効果の関わりを理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質・字形や構成を生かした書表現の技能を身に付けている。	古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形や全体の構成を生かし、意図に基づいた表現の構想を工夫している。 書の伝統と文化、生活や社会における書の効用とその根拠について考え、書のよさを味わって捉えている。	主体的に書の表現と鑑賞の幅広い活動に取り組む態度、書のよさや効用を捉え、自己表現に生かそうとする態度、制作の過程を振り返って評価・改善しながら粘り強く取り組む態度を身につけている。
評価の方法	定期考査は行わず、次の4点をふまえて総合的に評価します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 出席・学習活動への参加状況（主体的に学習に参加し、粘り強く取り組んでいるか。）</li> <li>2 作品（書体や書風の特徴を捉えて表現出来ているか。用具・用材や字形、構成などを工夫し、意図に基づいた表現が出来ているか。）</li> <li>3 プリント（自身の考えや気づきがかかれているか。制作過程や改善点、自己評価など学びの過程が分かる内容となっているか。）</li> <li>4 その他（道具を大切に扱っているか。教室や棚の整理整頓が出来ているか。）</li> </ol>		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	外国語科	科目	英語 コミュニケーション I	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	All aboard! English Communication I						
副教材等	英作基本文例600【第6版】						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・毎回ノートに予習をして授業を受けてください。ノートの書き方については授業で指示します。
- ・授業時に配付されるテスト対策プリントや参考プリントをファイルに綴じておいてください。
- ・定期考査や課題考査で間違えた箇所は毎回ノートに訂正してもらいます。

2 学習の到達目標

- (1) 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を身につける。詳細は別途 Can-Do リストで示す。
- (2) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- (3) 実用英語技能検定(英検)の3~準2級程度の英語力を身につける。(CEFR A1~CEFR A2)

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めるとともに、その知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話して手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	・定期考査・課題考査 ・パフォーマンステスト	・定期考査・課題考査 ・パフォーマンステスト	・授業態度(授業時の発言や発表等) ・出席状況・課題考査 ・訂正や宿題等の提出物 ・パフォーマンステスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	中学校の復習 過去形の理解	Warm-Up ①~③	アルファベット、教室で使う表現、辞書の使い方/疑問詞				a: 音声、語彙、表現、文法 (be 動詞と一般動詞、過去形)、言語の働きを理解し、適切に活用する技能を身につけている。 b: 日常的话题を読み聞きし、その内容を的確に理解している。また、それをもとに適切に表現したり、伝え合ったりしている。 c: 授業態度、出席状況、提出物が良好である。自己紹介や朝ご飯の紹介を英語で言える。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Pre-lesson ①~② Ito Neko	be 動詞と一般動詞 伊藤ネコの文を読み、自己紹介ができるようにする。	○	○	○		
2 学期	進行形や助動詞や不定詞の理解	Lesson 1 Breakfast around the World	ベルギーとベトナムに住む人が自分の朝ご飯を紹介する文を読み、自身についても紹介できるようにする。	○	○	○	a: 音声、語彙、表現、文法 (進行形、助動詞、to 不定詞)、言語の働きを理解し、適切に活用する技能を身につけている。 b: 日常的话题もしくは社会的話題を読み聞きし、その内容を的確に理解している。また、それをもとに適切に表現したり、伝え合ったりしている。 c: 授業態度、出席状況、提出物が良好である。また好きな動物を理由とともに言えたり、道案内を言えたり、行きたい国を理由とともに言えたりできる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	オーストラリアに生息するクオッカの文を読み、自分が好きな動物を理由とともに言えるようにする。	○	○	○		
		Lesson 3 Life with Spade	伝統芸能である流鏝馬をとおして、かけがえのないパートナーとしての馬と共に生きることを考える。	○	○	○		
3 学期	動名詞の理解	Lesson 4 A Miracle Mirror	南米ボリビアのウユニ塩原の文を読み、自身が行きたい国を対話形式で、理由とともに説明できるようにする。	○	○	○	a: 音声、語彙、表現、文法 (動名詞)、言語の働きを理解し、適切に活用する技能を身につけている。 b: 日常的话题もしくは社会的話題を読み聞きし、その内容を的確に理解している。また、それをもとに適切に表現したり、伝え合ったりしている。 c: 授業態度、出席状況、提出物が良好である。また、自身の今好きなことや将来の夢について語れる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Lesson 5 A Dream Engine	有害ガスを出す車のエンジンを高校生たちが空気手動エンジンを開発する上での苦悩を語る。	○	○	○		
		Reading 1 Short Stories in English	短めの笑話を3つ読み、何が面白いかを読み取る。また、知覚動詞を用いたSVOCの文型に慣れ親しむ。	○	○	○		

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	家庭科	科目	家庭総合	単位数	4単位	年次	1年次
使用教科書	家庭総合(実教出版)						
副教材等	Life Design 資料+成分表+ICT(実教出版), 家庭科問題集 基礎編						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・授業では、ワークシート、タブレットを使用し、毎時間振り返りの自己評価を行います。また、単元ごとに自分の考えをまとめたり、調べたりするレポート課題を含め、総合的に評価していきます。
- ・被服実習では、家庭科被服技術検定3級と2級へ挑戦します。

2 学習の到達目標

- (1) 生活を主体的に営むために必要な知識と技術を習得する。
- (2) 生活の中から課題を見だし、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	生活の中から課題を見だし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
評価方法	単元テスト・被服実習・実技テスト 定期考査	単元テスト、ワークシートレポート ホームプロジェクト、実習作品	計画表、レポート・ホームプロジェクト、振り返りシート 訂正ノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法	
				a	b	c			
1 学期	家族・家庭及び福祉	人の一生と家庭・社会・青年期の自立と家族生活	生涯の生活設計		○	○	a:人の一生と各ライフステージの特徴と課題について理解する。 b:生涯を見通した自己の生活について主体的に考える	単元テスト 定期考査 テスト訂正  被服実習作品	
			家族・家庭と社会	○	○	○			
	科学と文化	衣食住の生活の科学と文化	衣生活	着る	○	○	○	a:衣・食・住生活を取り巻く課題、日本と世界の文化などについて理解を深め環境に配慮した生活について理解する。 b:生涯を見通した生活を主体的に営むことができるように考察し、工夫する。	レポート 設計図 振り返りシート 計画表
			食生活	食べる	○	○	○		
		住生活	住まう	○	○	○			
2 学期	ホームプロジェクトと家庭クラブ活動				○	○	b:家庭生活や地域と関連付けて生活の課題を設定し解決方法を考え実践する	レポート ホームプロジェクト	
	持続可能な消費生活環境	経済的自立と消費行動	家計のマネジメント	○	○	○	a:消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解を深めるとともに、経済と社会との関わりについて情報の収集・整理ができる。 b:生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、課題や社会保障制度などと関連付けて考察し、工夫する。	単元テスト 定期考査 テスト訂正  被服実習作品 レポート 計画表 振り返りシート ライフプラン	
			消費行動と意思決定	○	○	○			
			持続可能な消費生活	○	○	○			
経済計画			○	○	○				
3 学期	人の一生と家族・家庭及び福祉	様々な人々の関わりと共生社会	高齢者の生活と福祉	○	○	○	a:子どもや高齢者の心身の特徴や生活や高齢者福祉、障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深める。 b:家庭や地域及び社会の一員として自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察し、子どもや高齢者や様々な人々との関わりを工夫する	定期考査 テスト訂正  レポート 振り返りシート	
			共生社会における地域や家族	○	○	○			
			子どもとの関わり	○	○	○			

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	商業科	科目	ビジネス基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	ビジネス基礎						
副教材等	全商ビジネス計算(珠算・電卓)実務検定模擬試験問題集						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

複雑で多様なビジネス社会を見る目を養い、常に大きく変化する社会の将来を見通す力を身に付けることが、ビジネス基礎を学ぶ意義です。教科書の内容はもちろんですが、そこから様々なことに目を向け、興味関心をもち、広い視野と深い知識を身に付けることが大切です。

またビジネス計算検定への取り組みも授業への集中力を高め、自信を付けさせるのに役立つと思います。金融・金銭教育にも取り組み、金融・金銭教育を通し、社会の中で主体的に行動できる能力と態度の育成を目指します。

2 学習の到達目標

- ・ビジネスの諸活動の意義や役割など基礎的な知識と技術を習得する。
- ・経済社会の一員として望ましい心がまえを身につける。
- ・豊かな人間性とビジネスの諸活動に適切に対応する能力を身につける。
- ・金融・金銭教育を通し、社会の中で主体的に行動できる能力と態度を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ビジネスについて理解し、関連する技術を身に付けている。	ビジネスに関する課題を発見し、解決する力を身に付けている。	自ら学び、主体的・協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	検定試験への取り組み、取得状況など	定期考査, 小テスト, 諸課題等	授業態度, 提出物への取り組み等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学 期	1,2 3 章	商業の ガイダン ス他	ガイダンス	○		○	a:単元への理解, 技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 提出物, 授業への取り組み
			経済と流通の基礎	○	○			
			ビジネスの担い手	○	○			
2 学 期	4, 5 章	企業活動の 基礎他	ビジネスと企業	○	○		a:単元への理解, 技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 提出物, 授業への取り組み
			金融金銭教育 (身近な保険)	○		○		
			ビジネスと売買取引 代金決済 他	○	○			
3 学 期	6, 7 章	売買に 関する 計算他	売買計算の基礎	○	○		a:単元への理解, 技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 検定への取り組み, 資格取得状況
			検定への取組	○	○			
			コミュニケーション	○		○		

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	商業科	科目	情報処理	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	情報処理						
副教材等	全商ビジネス文書・情報処理検定(情報基礎)模擬試験問題集						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

ICTが高度に発展した高度情報通信社会と呼ばれ、パソコン操作が不可欠です。知識面・技術面共にまずは基礎・基本が大切です。基本的なWordやExcelの操作をしっかりと身に付けることが、その後の応用力を伸ばす力につながるため、まずは日々の授業で学ぶことを大切に知識と技術力の向上を目指してほしいと思います。また、特に入力操作において、ブラインドタッチができるようにしましょう。また打数のレコーディングで実感させましょう。

2 学習の到達目標

・ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させる。  
 ・情報の意義や役割を理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用させる能力を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報処理について理解し、関連する技術を身に付けている。	情報処理に関する課題を発見し解決する力を身に付けている。	自ら学び、主体的・協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	検定試験への取り組み、取得状況など	定期考査、小テスト、諸課題等	授業態度、提出物への取り組み等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	1章	企業活動と情報処理	情報処理の重要性	○	○		a:単元への理解,技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び,主体的に学ぶ態度	定期考査,提出物,授業への取り組み
			情報モラルと法規	○	○			
			コミュニケーションと情報デザイン		○	○		
2学期	4章	ビジネス文書の作成	ビジネス文書と表現	○		○	a:単元への理解,技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び,主体的に学ぶ態度	定期考査,検定への取り組み,資格取得状況
			基本文書の作成	○	○			
			応用文書の作成			○		
3学期	2章	コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	コンピュータシステムの概要	○	○		a:単元への理解,技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び,主体的に学ぶ態度	定期考査,提出物,授業への取り組み
			情報通信ネットワークのしくみと構成	○	○			
			インターネットの活用他		○	○		

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	家庭科	科目	フードデザイン	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	フードデザイン Food Changes LIFE【教育図書】						
副教材等	家庭科技術検定問題集基礎編						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布するプリントや教科書を使用して、食生活に関する知識と技術を身に付けます。</li> <li>・実習では、習得した知識や技術を活かして、基礎的な調理を行います。定期的な実技試験も含め、知識・技能や主体的に学習に取り組む態度の評価となります。</li> <li>・食物調理技術検定3,2級の取得を目指します。日頃から問題集に取り組み、実技課題の練習も重ねて下さい。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<p>家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成することをめざす</p>
---

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観念の趣旨	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決できる	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている
評価方法	定期考査 実技試験	定期考査 調理実習 実習プリント 課題	実習プリント リフレクションシート 課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	健康と食生活 栄養と食品	各栄養素のはたらき 健康と食生活	食事の意義と役割	○	○		a: 食事の意義と役割について理解するとともに、我が国の食生活の現状と課題の把握し、関連する情報の収集・整理ができています。 b: 健康な食生活の在り方に関する課題を発見し、その解決に向けて食生活の工夫について考察している。 c: 健康と食生活について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組んでいる。	定期考査 調理実習 実習プリント 実技試験 リフレクションシート
			食を取り巻く現状	○	○			
			各栄養素のはたらき	○	○	○		
2学期	フードデザイン実習 栄養と食品	各栄養素のはたらき 食品の選択と取扱	食品とその特徴	○	○	○	a: 栄養、食品の特徴、食品の選択、衛生と安全等について理解できている。 b: 食の安全について課題を発見し、その解決に向けて考察している。 c: 調理に必要な知識と技術を身に付けるために、自ら学んだことを主体的かつ協働的に実習や実生活において活かそうとしている。	定期考査 調理実習 実習プリント 実技試験 リフレクションシート
			食品選択のコツ、食品の衛生と安全	○	○	○		
3学期	フードデザインの構成要素	食事の計画と調理 これからの食生活	食事摂取基準と食品摂取量のめやす	○		○	a: 食事摂取基準と食品摂取量のめやすや、調理操作と調理器具について理解できている。 b: 食事計画についての課題を発見し、その解決に向けて考察し、表現している。 c: 調理の目的や現代の食生活の現状等について、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組んでいる。	定期考査 調理実習 実習プリント 実技試験 リフレクションシート
			調理操作と調理器具	○	○	○		
			これからの食生活を考える	○		○		